

インフォメーション

冊=キユラ=

№.29

1978年2月

目 次

I	第11回大会の御案内	1
II	第18回運営委員会報告	3
III	DGDの編集について	5
IV	DGD編集事務について	6
V	10年目の反省について	7
VI	国際発生物学会への加入のお願い	7
VII	日中科学技術交流協会について	8
VIII	事務局移転の御挨拶	8
IX	会員異動	9

日本発生物学会

東京都町田市南大谷11号(〒195)

三菱化成生命科学研究所発生物学研究室内

事務局よりのおねがい

1. 会費納入のお願い

学会の会計が諸物価の値上り、会費滞納などのため大変苦しくなっています。会費の納入に御協力下さい。会費は同封赤色振替用紙にてお払い込み下さい。念のため、年間会費は6,000円です。

加入者名 日本発生物学会 口座番号 東京0-81651

2. 現在DGDの基金を募集中です（サーキュラーNo. 22 参照）

1 口 1,000円（1人何口でも可）

払込先 郵便振替 東京0-81651 日本発生物学会
（振替用紙の裏面に「DGD基金」と記入して下さい）

3. サーキュラーへの投稿おねがい

学会員相互の交流のためいろいろな話題をおよせ下さい。学問上のこと（たとえば、意見の交流を求める話題の提供、トピックスの紹介、国際会議の様子、など）、研究室の紹介、学会への意見などいろいろあると思います。ふるって投稿して下さい。

なお、原稿は事務局庶務幹事あて、お送り下されば、幸いです。

インスタント人工海水

アクアマリン

姉妹品

◇ ボースアクアマリン（海水魚淡水魚同時飼育剤）アクアマリンM
（人口海水用添加液）アクアマリンK （海藻育成液）その他

八洲薬品株式会社 水産事業部

大阪市西区京町堀1丁目145 TEL 大阪(06) 441-3751(代)

I 日本発生生物学会・第11回大会のお知らせ

日本発生生物学会第11回大会は本年5月、三島市公会堂において行なわれます。大会の日程と参加、講演申込の要領や宿泊その他についてはつぎの通りですので、多数ご参加くださいますようお願いしております。

1. 期 日 昭和53年5月24日(水)、25日(木)、26日(金)の3日間
2. 会 場 三島市一番町20 三島市公会堂(国鉄三島駅より徒歩5分)
3. 日 程

日	程	午 前	午 後	夜
第一日	5月24日(水)	一般講演	一般講演	懇親会
第二日	5月25日(木)	一般講演	一般講演	招待講演
第三日	5月26日(金)	一般講演	総会・シンポジウム	

4. 参加申し込み

参加希望者はサーキュラー同封の参加申込票に必要事項をご記入の上、3月20日(月)までに到着するよう、大会準備委員会あてお送りください。講演なしで参加される方も、この申込票は必ずお送りください。申込票発送と同時に大会参加費3,000円(但し、学生、院生は2,000円)を3月20日(月)までに同封の郵便振替にて御送金ください。その際、通信欄に、所属、氏名、講演の有無をご記入ください。なお振込票をもって、領収書にかえさせていただきます。

口座番号：東京 0-3 5 2 4 3

加入者名：日本発生生物学会第11回大会

5. 講演申し込み

講演発表者は、講演要旨をサーキュラー同封の原稿用紙に記載の上、参加申込票とともに3月20日(月)までに到着するよう大会準備委員会あてお送りください。

(1) 講演要旨はそのまま写真製版されますので、誤字のないようにご注意ください。また、ご送付にあたって原稿は二つ折りにし、厚紙をあてて折れ曲らないようご配慮ください。

(2) 講演者は昭和53年度までの会費を納入した会員に限ります。したがって、会費未納の方および非会員の方は申込期日までに所定の手続きおよび会費

を納入してください。

- (3) 講演は1人1題です。但し共同研究者として加わっておられる場合は、この限りではありません。共著でご発表の場合は、発表者のみが講演の申し込みの手続きをしてください。なお共著の場合発表者の氏名の右肩に※印をつけてください。
- (4) 講演時間は討論を含めて1題20分を予定しています。

6. 招待講演 大会第2日, 5月25日(木)夜, つぎのような招待講演を予定しています。

「メッセンジャーRNAの構造と機能
——とくにキャップ構造について——」

遺伝研・分子遺伝部長 三浦謹一郎氏

7. シンポジウム

大会第3日, 5月26日(金)午後つぎのようなシンポジウムを企画しました。

「発生, 分化の研究における遺伝学的アプローチ」

- (1) 差次的遺伝子発現のモデルとしてのゾウリムシ

東北大・理・生 樋渡 宏一

- (2) キノコの子実体形成の遺伝生化学的研究

東大・応微研 石川 辰夫

- (3) ヒドラ間細胞 (Interstitial cell) 欠失株について

遺伝研・生 化 杉山 勉

- (4) ショウジョウバエにおける生殖細胞の形成

筑波大・生 岡田 益吉

- (5) マウスのテラトーマについて

遺伝研・生保研 野口 武彦

8. 宿泊案内 大会準備委員会としてはとくに宿泊のお世話はいたしませんので, お手数ながら各自で手続きをとってください。国鉄三島駅は新幹線「こだま」で東京から1時間(自由席特急料金ともで2,400円)。名古屋から1時間40分(自由席特急料金ともで4,000円)。大阪から3時間(自由席特急料金ともで6,600円)です。会場, 三島駅周辺の主なビジネス・ホテルは下記のとおりです。

- (1) ミシマプラザホテル

〒411 三島市本町14-31 シングル 3,500円 (税, サー
ビス込)
TEL (0559)72-2121 ツイン {普通 5,280円 ()
特別 6,600円 ()

- (2) ミシマビジネスホテル

〒411 三島市寿町14-31 シングル 3,200円 ()

- TEL (0559)72-0555 ツイン 5,200円 (税, サー
ビス込)
- (3) ミシマグランドホテル
- 〒411 三島市大宮町3-18-33 シングル 3,800円 (/)
- TEL (0559)75-4300 ツイン 6,800円 (/)
- 和室 (バス・食事付) 9,800円 (/)
- 10,000円 (/)
- (4) ミシマ雅叙園観光ホテル
- 〒411 三島市南町2-37 シングル A 4,070円 (/)
- TEL (0559)71-1441 (デラックス) B 4,800円 (/)
- ツイン A 6,050円 (/)
- (デラックス) B 7,480円 (/)
- (5) 北口ビジネスホテルミシマ
- 〒411 静岡県駿東郡長泉町下土狩33-1
- TEL (0559)87-6200 シングル A 3,000円 (/)
- (トイレ付) B 3,400円 (/)
- (6) ホテル 昭明館 和室 A 3,000円 (/)
- 〒411 三島市一番町11 B 5,000円 (/)
- TEL (0559)75-0349 (1泊2食付)
- (7) ミシマステーションホテル
- 〒411 三島市一番町3200-186 シングル { 3,520円 (/)
- 4,070円 (/)
- TEL (0559)72-7171 ツイン { 5,500円 (/)
- 7,700円 (/)

10. 大会連絡先

〒411 静岡県三島市谷田1,111
 国立遺伝学研究所内
 日本発生生物学会第11回大会準備委員会
 (TEL 0559-75-0771 内線261)
 大会準備委員長 黒田 行昭

II 第18回運営委員会報告

第18回運営委員会が1月9日愛知会館で行われた。議事、報告下記の通り。

出席者：団(会長), 大西, 岡田, 金谷, 加藤, 水野, 米田, 渡辺

旧事務局より：石崎, 石母田

新事務局より：田中, 山崎

議事：1. 52年度決算及び53年度暫定予算について、別表の通り承認されました。

2. 新DGD編集主幹及び編集委員(3名)選出, 編集主幹は岡田節人氏が再選され, 編集委員はJ.C.団, 金谷, 加藤(淑)の3氏が選出されました。

3. 10年目の反省について

江口吾朗氏(名大・分子生物)に取りまとめ役を一任することに決まりました。

昭和52年度決算報告

(52.12.31)

収	入	支	出
	円		円
前年度繰越金	2,959,659	編集局経費	1,824,058
学 会 費	2,291,407	事務局経費	755,895
DGD売上げ	3,179,916	DGD印刷製本費	4,824,900
広 告 代	80,000	内訳 (vol 18 No.4	1,636,800)
単行本売上げ	1,374,460	(vol 19 No.1~3	3,188,100)
文部省助成金	1,310,000	第10回大会講演要旨集印刷費	384,940
DGD充実のための基金	41,000	サーキュラー印刷費	107,000
団氏記念論文著者負担金	754,494	運営委員会経費	139,880
講演要旨名簿売上げ代金	3,280	第11回大会援助費	70,000
銀 行 利 息	55,774	国際発生物学会議共催費	150,000
		単行本(受精の生物学)諸経費	469,000
		郵便振替手数料	24,410
		銀行手数料	2,050
		次年度繰越金	3,297,857
計	12,049,990		12,049,990

昭和53年度暫定予算案

収	入	支	出
	円		円
前年度繰越金	3,297,857	編集局経費	2,735,000
学 会 費	3,400,000	事務局経費	1,000,000
DGD売上げ	3,000,000	DGD印刷製本費	5,600,000
広 告 代	200,000	第11回大会講演要旨集印刷費	400,000
単行本売上げ	2,000,000	単行本諸経費	1,000,000
文部省助成金	1,310,000	サーキュラー印刷費	120,000
DGD充実のための基金	100,000	運営委員会経費	200,000
銀 行 利 息	50,000	第12回大会援助費	70,000
		会長運営委員選挙費用	50,000
		郵便振替手数料	40,000
		銀行手数料	5,000
		予 備 費	100,000
		DGD年6回発行のための準備金	
			2,037,857
計	13,357,857		13,357,857

III DGDの編集について

- 1) 過日開かれました日本発生物学会委員会において、岡田が引続きDGD編集主幹を担当するよう会長から指名を受けました。身に余る大役ではありますが、1980年までの3年間精々雑誌の発展のため努力致したいと存じます。会員諸氏の御協力と御支援の程を引続き宜しく願います。次第であります。
- 2) 学会会則の定めるところにより、委員会において団ジーン、加藤淑裕、金谷晴夫の3氏が編集委員に選ばれました。他の編集委員については慎重考慮の上、主幹から依頼をし、全部の方々から快諾を得ました。1980年までの編集委員は次の通りであります。

1978年～1980年DGD編集委員(順不同)

団 仁子	千葉県館山市香832 (294-03)
藤田 哲也 京府立医大, 第二病理	京都市上京区河原町広小路 (602)
古谷 雅樹 東大, 理, 植物学	東京都文京区本郷7 (113)
金谷 晴夫 生物科学総合研究機構, 基礎生物学研	岡崎市明大寺町字西郷中38 (444)
加藤 淑裕 三菱化成生命科学研	東京都町田市南大谷11号 (194)
岡田 益吉 筑波大, 生物科学系	茨城県新治郡桜村大字妻木字天久保
R.L.DeHaan Dept. of Anatomy, Emory Univ,	Atlanta, Georgia, U.S.A.
鈴木 旺 名大, 理, 化学科生物化学	名古屋市千種区不老町 (464)
山名 清隆 九大, 理, 生物学	福岡市東区箱崎 (812)
幹 事	
天野 実 広島大, 総合科学部	広島市東千田町1-1-89 (730)
編集主幹	
岡田 節人 京大, 理, 生物物理	京都市左京区北白川追分町 (606)
谷 晶代 (主幹秘書)	〃

- 3) すでに1977年の学会総会で報告しました通り、1978年からDGD編集事務局は従来の名古屋大学から広島大学へ移転します。印刷は以後、広島在「大学印刷」において行なわれることとなります。編集幹事は天野実氏が担当されます。小島学氏(名大)には過去10年の長きにわたって、編集幹事を担当されDGDの発刊のために献心的な労をとってこられました。その任を退かれるにあたり、編集委員を代表して心から御礼申し上げます。
- 4) DGDの将来計画として、年6回刊行の可能性が過去数年間に編集委員会においてしばしば検討されてきました。1977年11月に開催されましたDGD編集委員会(名大菅島臨海実験所で開催)において、編集主幹からDGDの現状と、諸外国において刊行されている発生物学関係の雑誌の刊行現状を改めて説明し、DGDの年6回刊行の議をはかりました。編集委員会としては1979年より年6回刊行する案を学会委員会に提出し、この編集委員会案は学会委員会で承認されることとなりました。これはDGDの編集事業としてはもちろん、日本発生物学

会の活動としても画期的な転機であり、会員一同の充分な御理解をお願い致します。以下に、年6回刊行を実行するに至った理由を列記します。

- (i) 過去4年間において年間40篇以上の論文が発表されており、今後、最少年間45~50篇の論文を印刷する準備を整えておくことの必要性がある。
- (ii) DGDは、いわゆる「速報誌」ではないが、雑誌である限りその速報性は重要な要素であり、出来るだけ、受理から刊行までの期間を短縮することは、寄稿者はもちろん、会員を含めた全読者への責任である。
- (iii) 諸外国で刊行されている発生物学の専門誌として確立されているものがいくらかあるが、いづれも、年6回以上の刊行である。DGDのみ年4回刊行で止まるのは、速報性という見地からして国際的な地位を維持するためには著しいハンディキャップとなる。
- (iv) 現在、DGD編集に伴う種々の事務上の手続きが一応の確立をみているので、年6回刊行による事務上の混乱は大きくないと予測された。
- (v) 現在の学会の経理状態からすると、1979年からの年6回刊行のために早急な会費値上げを必要としない(但し、物価上昇による値上げの必要は別)。以上の通りでありまして、1979年(vol 21)以後、一応、1号あたり7~8篇の論文を掲載し年6回刊行を目標としています。
(DGD編集主幹 岡田節人記)

IV DGD編集事務について

(I) DGD編集事務局および印刷所の広島移転の機会に、寄稿者の便宜をはかり、あわせて会員の理解を頂くため、寄稿頂いた論文が印刷されるまでの過程を説明します。

1)原稿が主幹へ送られてくる(主幹から受領書発送) → 2)主幹から reviewers へ原稿コピーを送り意見をきく → 3)reviewers の意見に従って採択の可否を主幹から著者へ報告する。必要な場合、reviewers の意見を付して著者に改正を求める。改正稿の re-review の必要の有無はその際、主幹から著者に通知する。 → 4)採択可となった原稿について、編集面からのチェックを行なう。また、主幹が必要と認めた場合は英文校正に送付する。(この場合に行なわれた改正は、原則として著者に一々承認を求めない。但し、主幹が必要と判断したときは著者と連絡する) → 5)一つの号に掲載される論文は、とりまとめて編集事務局(広島)へ送る(このことは著者に通知される予定) → 6)編集事務局で原稿は再整理されて印刷に付される → 7)校正は原稿と共に印刷所から著者へ送られる → 8)著者は校正を完了し編集主幹へ送る → 9)編集主幹は校正を再チェックして印刷所へ送り、雑誌は完成される。

送付された原稿について著者が問合わせを必要とされる場合、原稿が上記の5)までの段階にあれば編集主幹宛、それ以後の段階にあれば編集幹事宛にお願いします。

別刷、超過頁については著者と印刷所との連絡をお願いします。今後は校正が印刷所から送られる際、そのための必要書式が同封されます。

DGD原稿についての連絡先:

編集主幹: 岡田節人 京都市左京区北白川 京都大学 理学部生物物理学教室 (606)

TEL 075-751-2111 内線 4196

主幹秘書: 谷 晶代 同上

編集幹事: 天野 実 広島市東千田町 1-1-89 広島大学 総合科学部

TEL 0822-41-1221 内線374

印刷所: 大学印刷K.K. 広島市十日市町 2-3-23

TEL 0822-31-4231

(2) 最近, 会員諸氏から送られます原稿はよく整備されており, 編集事務面に困難が殆んどなく感謝しております。重ねて次の諸点 (これらは, いずれも投稿規程外のことではありますが) に留意頂けるよう御協力をお願いします。

1) オリジナルとコピー2部とをテキスト・図・表などそれぞれについて一式としてまとめて送って頂くと整理上頗る好都合です。

2) テキストにタイトルページを作って頂く必要はありません。代りに上欄の見出し, (running title です), 著者名とそのアドレス (これは校正を送るべき宛名です) テキストの頁数, 図の説明の枚数, 表, 図の数を日本語で (running title 以外) 記入した紙を一枚付して頂くと便利です。これは印刷所への指示のものですから, 是非, 日本語をお願いします。

3) テキストのタイプは, Material and Method とか Results とかの項目ごとに頁をかえず, タイトルから, 文献までそのまま続けて下さい。およその長さの見当をつけるためにその方が便利であります。

4) 写真などを張りつける台紙は, なるべく厚いものを避けて下さい。郵送料が著しく高くなる上に, かえってシワになったり, 折れたりすることがよくあるようです。

(以上 DGD編集主幹 岡田節人記)

V 10年目の反省について

運営委員会 (1978年1月, 名古屋) で, 討議された結果, 具体的に案をとりまとめ, それを集約して総会に提議するためのとりまとめ役を江口吾朗氏 (名大, 理・分子生物学) に, お願いすることに決まりました。江口吾朗氏の快諾を得ましたので, 会員からの御意見を3月末までに, 名古屋市千種区不老町, 名古屋大学理学部, 分子生物学施設, 江口吾朗教授宛, お寄せ下さい。

くわしくは, インフォメーション・サーキュラーNo.28を御覧下さい。

VI 国際発生生物学会への加入のお願い

国際発生生物学会は1977年に東京においてその第8回国際会議を行ない, 御承知の通り非常な成功のうちに終ることが出来ました。この会を名実共に, 国際的に発生生物学研究者を結集したものにすべく, 多くの方々の加入を学会としては切に希望しております。特に, わが国の現状

と実力は昨年の大会においても、強い印象を諸外国の研究者に与えたことであり、また会長 Dr. A. A. Moscona は、わが国が発生生物学の関係では、世界中でも最もよく整備された日本発生生物学学会という組織をもっていることに注目し、連帯と支援とを強く希望しております。今期は竹内郁夫氏（京大）が国際発生生物学学会委員として新しく選出され、私も及ばずながら引続き委員として留任しており、日本発生生物学学会会員諸氏が、国際発生生物学学会の活動にも関心と連帯をおもて頂くことを望んでおります。

ふるって多くの会員諸氏が国際発生生物学学会にも加入されることをお誘いします。加入必要用紙は岡田まで請求下さればお送りします。加入手続きは至って簡単であります。

なお、年間会費は \$10.00 です。会員には年2回 News letter が送られ発生生物学関係の国際的な種々の会合などについての情報が得られます。もちろん、国際発生生物学学会会議への出席、会議での講演が出来ます。国際的な発生生物学関係の雑誌である Developmental Biology, Cell Differentiation を個人購読される場合に割引きがあります。ふるって多くの方々が国際発生生物学学会とも御加入下さるようお願いする次第です。

(京都大学理学部 岡田節人記)

VII 日中科学技術交流協会について

日中科学技術交流協会が設立

昨年12月17日、日中科学技術交流協会が日中両国科学者・技術者のあいだの友好交流を強化発展させることを目的にこれまで学術交流のため訪中した科学・技術者218名の参加によって設立されました。

同協会は日中科学技術交流が一層発展するためこの目的に賛同する科学・技術者の入会を呼びかけています。

入会ご希望の方は下記にお問合せ願います。

日中科学技術交流協会

〒107 東京都港区赤坂4-3-30 横川ビル 日中協会内 電話 03 (585) 871

VIII 事務局移転の御挨拶

昭和53年1月1日付にて、本学会事務局は、三菱化成生命科学研究所に移転いたしました。会費納入、その他の御連絡、お問合わせは三菱化成生命研あてお願いいたします。

記

新事務局：東京都町田市南大谷11号（〒194）

三菱化成生命科学研究所発生生物学研究室内

TEL 0427-26-1211（内線 294）

事務局新役員：幹事長 加藤淑裕 庶務幹事 田中省二 会計幹事 山崎君江

郵便振替口座：加入者名 日本発生生物学会 口座番号 東京0-81651

IX 会 員 異 動

<新入会員>

- | | | |
|-------|------------------|--|
| 和合 治久 | 埼玉医科大・医 | ①免疫担当細胞の発生と分化神経系の発生と行動の発現
②ニワトリ胎児, カイコ, ガ |
| 山合友一朗 | 千葉大・医・第2解剖 | ①組織細胞の増殖調節機構組織再生における構造の再構成
②chick embryo, mouse |
| 堀田 凱樹 | 東大・理・物理 | ①神経系および筋肉の遺伝発生
②ショウジョウバエ (Drosophila) |
| 福田珠美子 | 東大・理・動物 | ①トリの肝臓の発生
②Japanese quail |
| 阿部 武丸 | 三菱化成生命科学研究所 | ①哺乳動物の初期発生
②チャイニーズハムスター |
| 東 怜 | 滋賀大・教育 | ①血液細胞の発生過程
②貝類 |
| 桑名 貴 | 熊本大・医・第3解剖 | ①始原生殖細胞の起原と移動
②ニワトリ, カメ |
| 佐藤 信夫 | 金沢大・癌研究所
分子生物 | ①細胞分化と癌化
②テラトカルシノーマ細胞 |
| 藤巻 秀和 | 国立公害研究所 | ①マウスの個体発生における T cell, B cell の免疫学的検索
②マウス |
| 野口 武彦 | 国立遺伝学研究所 | ①マウスのテラトーマ
②マウス (特にテラトーマ高発系) |

<住所変更>

- | | 新 | 旧 |
|-------|----------------------------------|--------------|
| 上村伊佐緒 | 都立大・理・生物 | 埼玉医大・細菌学 |
| 小野 記彦 | (自)調布市多摩川5-4-1
京王多摩川コーポラス 426 | 調布市小島町 666-2 |
| 八巻 敏雄 | 産業医科大学設立準備財団 | 東京大・教養・生 |

<退会会員>

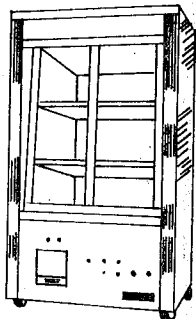
- | | |
|-------|-----------|
| 和久 義夫 | 京都工芸繊維大・生 |
| 久保田順子 | 東大・海洋研 |
| 沼野井春雄 | 早稲田大・教育・生 |

徳田 春邦	大日本製薬㈱総合研究所
熊谷 忠	東北大・農業研究所
保倉 進	立川市曙町 2-29-2
新宮 暁子	残留農薬研究所
藤波 昇	京都大・理・動物
山本 将	帝京大・医・第1解剖
牧野 彰吾	川越高校

NK式生物研究用機器

NK式電気低温恒温器(送風循環型)

高精度普及型

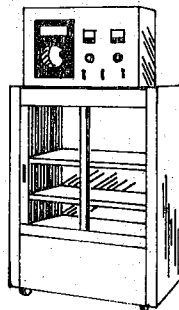


型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	24万円	27.5万円	30万円

※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プログラム電気低温恒温器(送風循環型)

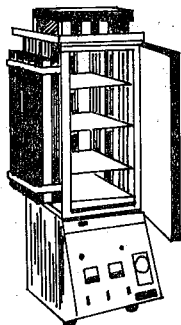
四季の温度がプログラムで自在に再現できます！



型式	LP-100 -3P	LP-150 -3P	LP-200 -3P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	43万円	45万円	48万円

NK式人工気象器

植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派！

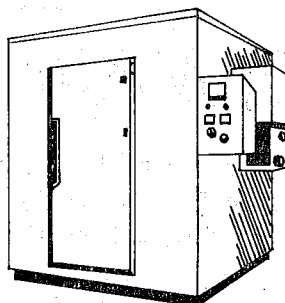


型式	LH-100 -R型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 43万円	温・湿 度付 65万円	プログラ ム付 55万円

※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プレハブ電気低温恒温槽

組立、移設、増設が思いのまま！

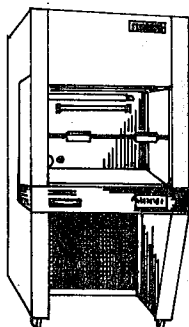


精密型

- LH型+5℃~45℃
価格1坪 1,080,000円
より各種
- LP型+18℃~45℃
価格1坪 1,170,000円
より各種

※詳細はプレハブシリーズカタログをご請求下さい。

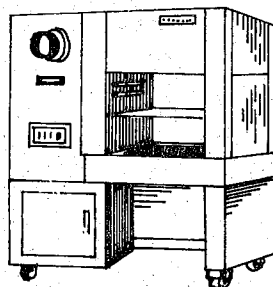
NK式クリーンベンチ(垂直層流型)



NKB-VS-850
¥750,000
NKB-VS-1300
¥850,000

NK式クリーンベンチ(垂直層流両面型)

無菌作業の能率アップに！



NKB-VW-850
¥1,000,000
NKB-VW-1300
¥1,300,000

NKS 株式会社 日本医化器械製作所

本 社 〒550 大阪市西区江戸堀北通1丁目25番地 電話 大阪06 (443)0712(代)
 東京営業所 〒183 東京都府中市清水ヶ丘1の3小林ビル 電話 府中0423 (65) 3245
 工 場 〒577 東大阪市新家東町5-4番地 電話 大阪06 (788) 1383~4

SIGMA
PRICE LIST
APRIL 1977

**BIOCHEMICAL AND
ORGANIC COMPOUNDS**

for Research
and **DIAGNOSTIC
CLINICAL REAGENTS**

**IT'S
EASY TO
ORDER
from
SIGMA**

Telephone COLLECT
(Charges Reversed)
from Anywhere in the World
8 A.M. to 7 P.M. Monday thru Friday
8 A.M. to 1 P.M. Saturday, Sunday and Holiday

314-771-5750

TO PLACE AN ORDER
Call your supplier that you want to place a collect call "to appear" at once that is our Order Department, you will reduce our costs a bit if you don't ask for the "order department" or any certain individual. However, it is a good idea to get the name of the person you talk to in case a problem develops later.

TO CALL OUR CUSTOMER SERVICE DEPT. 314-771-5765
To discuss a Shipping or Technical problem, or for any reason, please call.

If you have any trouble getting really excellent service at the above numbers, please phone me (Sam Brode) personally - Personal Parties (collect) at 314-923-6418

SIGMA シグマ製品がブーンと お求めやすくなりました!

日本特殊薬品では、アメリカ・シグマ社と代理店
契約を結び、シグマ社最新カタログの全製品を、
下記の要領で簡単にお求めいただけます。

- シグマ社の製品一切は、ご使用者への直結販売にかぎります。
- 遠隔地への送品には、荷造り・送料を実費申し受けます。少量の場合には、代金引換えにてお願いすることがあります。
- 汎用品はできるだけ常蔵していますが、品切れ、その他の場合は約1カ月のうちに取りよめます。(船便のときは約2カ月後)

お問い合わせは下記へ

《シグマ社受権代理店》

日本特殊薬品株式会社

大阪市西区京町堀1丁目8番22号 (〒550) ☎06(448)2261(代表)
私信箱番号 (〒530-91) 大阪中央局第755号

Call me anytime - day or night, Sundays or Holidays. I am usually (but not always) available. If you don't reach me, please try again later.

TELETYPE — TWX Telex 910-761-0593

We have a TWX machine and its number is: **910-761-0593**
If you have a TWX machine you may dial us directly.
If you have a Telex machine, contact your teletype representative for instructions. Don't try to dial our TWX number on a regular telephone — it won't work.
You must have a teletype machine.
To call us "collect" on either a TWX or Telex machine, contact your teletype representative for instructions.

Although we accept "collect" teletype messages, they are allowed by only a few countries. Check with your teletype representative for details. If you cannot send your message "collect" we will be happy to reimburse our cost. If you send us a copy of the message and the charges.

Our answer back code is "SIG. OK Collect". Although you may read messages to us at night, we cannot reply immediately. Our machine is unattended Monday through Friday between 1200 and 0800, and all day Saturday and Sunday.

PLEASE HELP US TO HELP YOU —
If at all possible, don't send us a CONFIRMING PURCHASE ORDER at all. It serves no useful purpose after your phone order is shipped, and might result in a duplicate shipment with its own returnable. We do not refund return charges.
If a purchase order MUST be sent anyway, be sure it is clearly marked "CONFIRMATION, DO NOT DUPLICATE".

**SIGMA
CHEMICAL COMPANY**